

キッセイコムテック株式会社



マイス
MICE*を支えるネットワーク環境構築にシスコの最新製品を積極活用。
やり直しの許されないシビアな現場でも高い安定性・信頼性・運用性を実現。



製品 & サービス

- ・ Cisco Catalyst 9800 シリーズ
ワイヤレス コントローラー
- ・ Cisco Aironet 2800 シリーズ
アクセス ポイント

課題

- ・ 高密度利用でも接続性を確保するテクノロジー
- ・ 変動の激しいトラフィックに耐える高パフォーマンス
- ・ Wi-Fi 6 へのいち早い対応
- ・ MICE特有の追加、変更への柔軟な対応
- ・ 設営作業ごとに発生する各種設定の負担軽減
- ・ ワイヤレス空間の容易な状態把握などの運用
利便性

ソリューション

- ・ シスコの最新製品の採用で高い信頼性と
パフォーマンスを確保
- ・ Wi-Fi 6へのいち早い対応も可能
- ・ ベストプラクティスやタグを活用した効率的
な設定と、Cisco CleanAir で電波環境変化を
容易に把握

効果~今後

- ・ すでに複数のMICEの現場で最新製品を活用
しユーザーから高く評価
- ・ 未来を創造する「MICE」をこれからもシスコ
と共に支えたい

多彩なMICEの現場において、ネットワーク機器のレンタルから 設計、機器設置、運用までを一貫して提供するサービス『MICE-NET』を展開するキッセイコムテック。展示会・企業イベント・国際会議・学会・スポーツイベントなど幅広い分野で、かつ重要な案件を数多く手がけています。ここで重要な役割を果たしているのがシスコ製品。短期催事という絶対にやり直しの許されないシビアな現場を高い安定性・信頼性・運用性で支えています。2019年からは最新のCisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラーと Cisco Aironet 2800 シリーズ アクセス ポイントを組み合わせた Wi-Fi環境の提供を開始。その接続性とパフォーマンスはMICEに関わる主催者や参加者からも高く評価されています。

*「MICE(マイス)」とはMeeting(会議・セミナー)・Incentive(招待・視察)・Convention(学会・国際会議)・Exhibition(展示会・見本市)それぞれの頭文字をとった造語で、人が多く集まる催事全般を指す言葉です。

課題

多彩なMICE現場でのネットワーク構築をワンストップで提供

キッセイコムテックが情報関連機器レンタル事業を開始したのは1996年。当初は主にIT系の展示会において主催者サービスの一つとしてIT機器のレンタルとネットワークインフラの提供を手掛けていました。「単にIT機器をレンタルするのではなく、最適な設計、機器設置、運用までワンストップで手掛け、多彩なMICEの現場において実際に使えるようにすることが、当社ビジネスの大きな特徴です」と語るのは、キッセイコムテック レンタル事業部 営業部 マネジャーを務める高柳 義哉氏。その多くは仮設であり、現場ごとに異なる要件に合わせたネットワークを構築し、終了後に撤収する形態であると説明します。「短時間でゼロから設営し、頻発する変更に対応し、本番はハイレベル要件を満たしかつやり直しが許されないという点がMICEの現場の特徴です。設営は、ホテルの宴会場なら一夜で、幕張メッセや東京ビッグサイト全館利用のような規模でも実質2日間で稼働開始となるスピード感で構築します。1年間に数万件の見積もり依頼をいただき、規模が大きい案件だけでも毎日どこかしらで手掛けている状況です」。ここで重要な役割を担っているのが、シスコシステムズのネットワーク製品です。キッセイコムテックは2007年からレンタル機器にシスコ製品をラインアップし、主力機材として扱っているのです。



キッセイコムテック株式会社
レンタル事業部 営業部
マネジャー
高柳 義哉氏

「その理由は、シスコ製品が世界で通用する最も信頼できる製品だと確信しているからです。MICEに集うお客様は世界中からやってきます。求められるレベルもおおのずと世界基準となります。お客様は商談・会議・競技・発表など、それぞれの次につながる機会を得るために集っています。そんなMICEの現場を支える通信インフラの構築や運用は失敗が許されない仕事であり、もし何か問題が発生してもその場で必ず解決することが求められます。信頼性の高い機材でなければ、このビジネスは遂行できないのです」。

同様の理由で、常に最新の機材を積極的に活用しているのも、『MICE-NET』の大きな特徴となっています。新しい機材は、高いパフォーマンスや信頼性ととも、運用面でもアドバンテージがあるケースが多いからです。MICEの現場でのWi-Fi環境構築は、最新のシスコ製品を中心にネットワークを組むケースが多いといいます。

今後はMICEの現場にもWi-Fi 6やローカル5Gのテクノロジーが求められてくると確信していますが、シスコの最新製品であればこれらにもいち早く対応できるはずで、未来を創造するMICEの発展を、これからもシスコと共に支えていきたいと考えています

—キッセイコムテック株式会社 レンタル事業部 営業部
マネジャー 高柳 義哉 氏



キッセイコムテック株式会社
レンタル事業部 営業部
エンジニアリングマネジャー
中澤 賢氏

ソリューション

Wi-Fi 6へのシフトを見越しシスコの最新機器を主力機材に

そのキッセイコムテックが2019年から提供を開始しているのが、Cisco Catalyst 9800シリーズ ワイヤレス コントローラとCisco Aironet 2800 シリーズ アクセス ポイントを組み合わせたWi-Fi環境です。「以前はCisco Catalyst 5500シリーズとCisco Aironet 2700シリーズ アクセスポイントの組み合わせが主流でしたが、今後はWi-Fi 6 (IEEE 802.11ax) へのニーズが高まることを見越し、主力機材をこれらの最新製品へとシフトしつつあります」と語るのは、キッセイコムテック レンタル事業部 営業部 エンジニアリングマネジャーを務める中澤 賢氏。2019年5月にはその第一弾として、仙台で開催された医療系学会のWi-Fi構築に活用、約100台のアクセスポイントで約1,500台の同時アクセスをサポートしたと振り返ります。

「Cisco Aironet 2800 シリーズが対応しているのは現時点ではまだIEEE 802.11acですが、Wave 2以上に対応しているため優れたユーザー体験を提供できます。またCisco Catalyst 9800シリーズは10Gのインターフェースをサポートするため、ビデオなどの広帯域コンテンツにも対応可能です。実際にこの会場でも多くのお客様から『パフォーマンスがいい』というご評価をいただきました。この直後に閣僚級の国際会議が開催されましたが、そこでもこの組み合わせでWi-Fi環境を提供しています」。

各種設定や電波状況のチューニングも容易

イベント会場の状況は毎回異なるため、ユーザーが満足できるWi-Fi環境を提供するには、綿密な設計とチューニングも不可欠です。シスコ製品であればこれも容易だと言うのは、キッセイコムテック レンタル事業部 営業部 ネットワークエンジニアを務める熊谷 孝博 氏です。

「設置現場では様々な状況を想定し、多様なパターンでサーベイを繰り返しながらチューニングを行っています。人の移動が想定される場合には実際に移動しながら通信することも確認し、端末も考えられるすべてのOSで動作確認を行います。シスコのWi-Fi製品でのチューニングは基本的に自動で行われ、細かいところだけを手動で調整しています。イベント会場が広い場合には中央エリアにアクセスポイントを配置できないケースもあるため、指向性アンテナを使って外周部から中央エリアへ狙って輻射するなど、外部アンテナの使い分けも行っています。シスコは外部アンテナのラインナップも豊富なので、このような対応も容易です」。また以前に比べて管理画面が使いやすくなったことも、Cisco Catalyst 9800シリーズの大きなメリットだと熊谷氏は指摘します。

「特にトップ画面が見やすくなっており、現在の設定が適切なかどうか、ベストプラクティスとの比較がひと目でわかります。設置現場では毎回改めて設定を行う必要があるため、このような情報はたいへん参考になります。設定漏れを防ぐ上でも効果的です。一度作成した設定内容にタグを付けて再利用できるのも便利です」。さらに運用段階では、Cisco CleanAir テクノロジーの情報も参考になると語ります。



キッセイコムテック株式会社
レンタル事業部 営業部
ネットワークエンジニア
熊谷 孝博氏



「設置段階では独自の専用ツールで電波状況を確認していますが、運用段階では常にCisco CleanAirの情報をしながら、電波状況を確認しています。イベント会場でのWi-Fi利用状況は刻々と変化し、当初の予想範囲を超えるケースも少なからずあるからです。Cisco CleanAirで問題が発見された場合には、現場で微調整を行っています」。

スマートライセンスの採用も大きなメリット

これに加え、シスコのライセンス付与方法が変更されたことも、キッセイコムテックにとって大きなメリットだと中澤氏は指摘します。

「以前はコントローラ毎にサーバーライセンスが必要でしたが、スマートライセンスに移行したことで、アクセスポイント単位でのライセンスになりました。イベント現場でのWi-Fi環境の構築では、当初は1台のコントローラで対応できると見積もったものの、状況の変化によって実際には2台必要になることは珍しくありません。以前のライセンス方法ではこれによって見積り金額が大きく変わってしまいます。しかしアクセスポイントベースであれば、それほど大きな変化は発生しません」。

もちろんライセンス管理の手間も削減されています。スマートライセンスはシスコが提供するCisco Smart Software Manager(CSSM)というポータルによって、集中的に管理できるからです。

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

お客様の声

朱鷺メッセは、本格的な展示場と大小13の会議室、ホテルなどが完全に一体化した、複合一体型のコンベンション施設。会議やパーティ、宿泊といったコンベンションの流れを、1つの空間でスムーズに行うことが可能です。Wi-Fi環境も用意されていましたが、以前はベストエフォート型の無償Wi-Fiのみの提供でした。

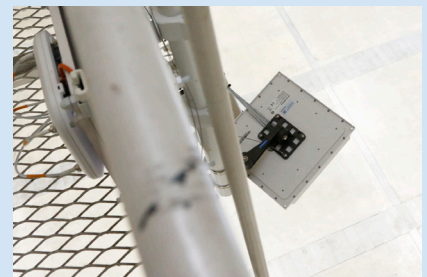
しかし利用団体からは「有償でもいいので接続性の高い環境が欲しい」という要望が増大。これに応える形で2016年、Wi-Fi環境の構築計画に着手しました。

キッセイコムテックでは、イベント会場に常設ネットワークを構築しているケースもあり、その1つが、新潟県新潟市の大規模コンベンション施設「朱鷺メッセ」におけるWi-Fi環境です。「この計画で重視したのは機器の販売・設置だけではなく、その後の運用までカバーしたサポートが受けられるパートナーを選定することでした」と語るのは、朱鷺メッセのネットワーク運用担当者。優れた製品を導入しても施設の運用スタッフだけでは、そのポテンシャルを引き出すことは困難だからだと説明します。「この要望に対応できたのはキッセイコムテックだけでした」。

Wi-Fiの機材としては、Cisco Catalyst 5500シリーズ(ワイヤレスコントローラー)とCisco Aironet 2700シリーズ(アクセスポイント)を採用。コントローラを1台、アクセスポイントを約60台導入し、2016年夏から運用を開始しました。



キャットワークに取付られているアクセスポイント



指向性アンテナ



事前に過去のイベントについて徹底的に調査をした上で、最適な機器設置を行っていただきました。その結果、有償での提供が可能な安定性の高いWi-Fi環境を実現。ネットワークの設定変更などへの対応もマウス操作だけで簡単に行なえるようになりました。

— 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
指定管理者 新潟万代島総合企画株式会社
施設部 施設課 係長 笠原 光治 氏

導入企業

キッセイコムテック株式会社



本社所在地 長野県松本市和田4010-10
設立 1985年4月1日
従業員数 330人(2019年7月1日現在)
売上高 72億2千万円(2018年度)
URL <https://www.kicnet.co.jp/>

キッセイ薬品工業株式会社の情報システム部門が分離独立し、1985年に設立したシステムインテグレーターです。システム企画から、開発、運用までのシステムインテグレーションサービスを中心に、医療・研究機関向けパッケージソフトの開発、情報機器レンタル事業を行っています。なかでもレンタル事業では、多彩なMICE現場へのIT機器レンタル、ネットワーク環境構築と運用管理を提供。他社に真似のできない「唯一無二」のサービスを行っています。
事業拠点は本社松本の他、東京・大阪・名古屋・福岡・札幌。
「MICE-NET」は、キッセイコムテック株式会社の商標です。



効果～今後

未来を創造する「MICE」の発展をシスコと共に支えていきたい

「先ほどお話しした件の他にも複数のMICEの現場において、最新のCisco Catalyst 9800シリーズ ワイヤレス コントローラと Cisco Aironet 2800 シリーズ アクセス ポイントを投入し、それぞれ無事終了しています。著名な企業や参加者が集う催事、順位を争う競技会、数千台規模の同時接続要件など多彩でどれもハードでしたが、信頼できるシスコの製品だからこそ安心して取り組むことができました。この安心はMICEに集うお客様に感じていただける安心の礎になると考えます。当社は今後も多彩なMICEの現場に対し、信頼性の高い安定したネットワーク環境を提供し続けていきます」と高柳氏。

キッセイコムテックではさらにサービスの提供ロケーションを広げるために、ネットワーク機器・アンテナ・電源を搭載した車両「MICE-NET Vehicle」の導入を行っています。「この車両を起点としていつでもどこでもネットワーク構築が可能となります。MICEにおいて今までできなかったことを実現するためのアイデアの一つとして提案していきたいと考えています。もちろん車内にはシスコ製品も搭載されています」。最近では屋外MICE案件としてスポーツイベントや防災関連が増えており、既に MICE-NET Vehicleはインターネット接続や会場内の映像伝送インフラの拠点として活用されはじめています。



MICE-NET Vehicle 3号車(札幌配備)



MICE-NET Vehicle 1号車(東京配備)

©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2019 年 12 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先